

## >シンポジウム 1

開催形式:ライブ配信+終了後オンデマンド配信

周縁化された方々の困難を理解し私たちができること  
ーマイノリティと呼ばれてしまう人々の生きづらさを深く考察し臨床に活かそうー  
(実行委員会企画)

**企画責任者** 武田 裕子(順天堂大学大学院医学研究科医学教育学)  
**司会・シンポジスト**武田 裕子(順天堂大学大学院医学研究科医学教育学)  
**シンポジスト** 弓野 綾(川崎医療生活協同組合 あさお診療所/  
東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学教室)  
吉田 絵理子(川崎協同病院 総合診療科)  
岩隈 美穂(京都大学大学院医学研究科 医学コミュニケーション学)  
西岡 誠(ゆうりんクリニック・世界の医療団)

### [開催の目的]

生きづらさを抱えた方々は私たちの周りに実はたくさんおられ、多くが周縁化(marginalized)され、声を上げることもできず、視界に入っていたとしてもその困難について思い至られることは少ない。そしてそのような方々はウェルビーイングを損ねやすい。「マイノリティ」とか「社会的弱者」という呼び方自体が、一方的な社会の価値観で周縁化し脆弱な状況に追いやっているかもしれない。プライマリ・ケア医が困難を理解し総合的な視点で診ることで、生きづらさの軽減や健康増進に貢献できるのではないだろうか。さらには、支援するという一方的な関わり方ではなく、当事者がもつ“違い”がもたらす豊かさを知り、共に協力しあう関係性を作ることができたときに、私たち医療従事者側も力をもらい、学びをえて臨床を深めることにも繋がりをえるだろう。シンポジウムは、皆様にそうした方々の存在に目を向けるきっかけを提供し、どのような役割を果たせるかを議論する場としたい。

### [企画概要]

本シンポジウムでは、周縁化された当事者の方や、そうした方々を支援する立場の医師に、当事者の置かれている状況を解説していただく。

- 1)弓野綾氏:在住外国人のウェル・ビーイングを支える豊かさ
- 2)武田裕子氏:在住外国人とのコミュニケーションに役立つ「やさしい日本語」



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
**学術大会**  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受け入れ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)  
会場 オンライン開催  
大会場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

3)吉田絵理子氏:SOGI(Sexual Orientation Gender Identity)に関わる困難について

4)岩隈美穂氏: 異文化コミュニケーションとしての「障害」

5)西岡誠氏: 路上生活者支援を通して学んだ「合理性」

それぞれの演者が語る「当事者の世界」への理解を深め、その健康問題と医療現場での取り組みを学ぶ。ディスカッションでは、プライマリ・ケア領域において医療者が遭遇する戸惑いや不安などについても質疑応答で明らかにし、周縁化された方々の健康問題を理解し医療に活かすには何が重要かを議論し、臨床現場でのヒントを得たい。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
**学術大会**  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受け入れ活かすケア～

● 会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)  
● 会場 オンライン開催  
● 大会長 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

## >シンポジウム 2

開催形式:ライブ配信+終了後オンデマンド配信

### 働き方改革(実行委員会企画)

**企画責任者** 百武 正樹(富士大和温泉病院 総合診療科)  
**司 会** 小崎 真規子(医療法人葵会 紫野協立診療所/  
日本プライマリ・ケア ダイバシティ推進委員会)

**シンポジスト** 斐 英洙(ハイズ株式会社)  
小西 竜太(独立行政法人労働者健康安全機構関東労災病院)

#### [開催の目的]

平成 29 年 3 月 28 日、「働き方改革実現会議」において「非正規雇用の処遇改善」「賃金引上げと労働生産性向上」「長時間労働の是正」「柔軟な働き方がしやすい環境整備」など 9 つの分野について議論が行われ、具体的な方向性を示すための「働き方改革実行計画」が公表されました。医療や介護の分野において、これまで問題点は何か、どう改善すべきなのかを共有する機会としてシンポジウムを開催したいと存じます。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
**学術大会**  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受け入れ活かすケア～

● **会期** ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)  
● **会場** オンライン開催  
● **大場** 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

## >シンポジウム 3

開催形式:ライブ配信+終了後オンデマンド配信

### 「イクボス」「SOGI アライ」から始める真の機会均等 ～医療界のダイバシティ実現を目指して～(委員会企画)

企画責任者	村田 亜紀子(岡山家庭医療センター／奈義ファミリークリニック)
司 会	西村 真紀(川崎セツルメント診療所)
	蓮沼 直子(広島大学医学部附属医学教育センター)
パネリスト	後藤 理英子(熊本大学病院 地域医療支援センター)
	吉田 絵理子(川崎協同病院 総合診療科)
	徳倉 康之(株式会社ファミリーエ 代表取締役社長／ NPO 法人ファザーリング・ジャパン 理事)
	金久保 祐介(亀田ファミリークリニック館山)
	村田 亜紀子(岡山家庭医療センター／奈義ファミリークリニック)
	草場 鉄周(日本プライマリ・ケア連合学会理事長／ 医療法人北海道家庭医療学センター理事長)
	大野 每子(唐津市民病院きたはた)

#### [開催の目的]

「男女共同参画」は本来、多様な生き方を尊重し、すべての人が生きやすい社会、活躍できる社会を目指した概念である。しかし、異性間の男女の結婚と出産・育児を自明視してきたがために、ジェンダー規範という共通の壁の前に女性とLGBTQs、パートナーや子どもを持たないライフスタイルの人等が分断され、お互いへの理解が進まずにきた経緯がある。そうした中ジェンダー、性的指向、性自認や民族などのあらゆる差異を超えて誰もが能力を発揮しながらキャリアを築くには大きな改革が必要で、組織のトップの理解と推進力が不可欠である。

この反省を踏まえ、男女二元論で作られた「男女共同参画推進」を「性的な多様性の保障」の観点から全面的に見直しプライマリ・ケアの職場環境から改善を図るべく、ワークライフバランスを切り口にした「イクボス宣言」とすべての人を包括する概念である「SOGI アライ宣言」の同時宣言を企画した。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
学術大会  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受け入れ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)  
会場 オンライン開催  
大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

## 〔企画概要〕

このシンポジウムでは、まずこれまで分断されてきたマイノリティたちの経験や苦勞、悩みをお互いに知り共通項に気づく機会を作る。その後、イクボスとイクボス宣言、SOGIとSOGIアライ宣言についてのミニレクチャーを踏まえ、これらと一緒に進む意義について概説する。そして、ファザーリング・ジャパン理事の徳倉康之氏同席の元、草場理事長より、「イクボス宣言 × SOGIアライ宣言」としてプライマリ・ケアに関わるすべての医療者に対し5か条の宣言を発表いただき、賛同者をご紹介しつつ一緒に取り組むよう学会員へ提案する予定である。

この宣言を契機に、マイノリティもマジョリティも一緒に考え、成長することで、差別をなくす歩みが早まること、さらに医療界初となる同時宣言を出すことでより積極的な姿勢を示し、周囲へ良い影響が波及することを期待する。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
**学術大会**  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受けいれ活かすケア～

- 会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)
- 会場 オンライン開催
- 大会長 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

## >シンポジウム 4

開催形式:ライブ配信+終了後オンデマンド配信

### 地域医療のセカンドキャリア(実行委員会企画)

**企画責任者** 大串 昭彦(佐賀大学医学部 地域医療支援学講座)  
**座長** 前野 哲博(筑波大学附属病院 総合診療科)  
山城 清二(富山大学附属病院 総合診療部/  
富山プライマリ・ケア講座)  
**シンポジスト** 川端 康一(医療法人社団藤聖会 富山西総合病院)  
高村 昭輝(富山大学 医学教育学)  
井階 友貴(福井大学医学部地域プライマリケア講座)  
大浦 誠(南砺市民病院 内科・総合診療科)

#### [開催の目的]

高齢社会を迎え日本の医療体制が変わっていく中で、幅広い臨床能力を持ったプライマリ・ケアの担い手のさらなる養成が急務である。日本プライマリ・ケア連合学会では、それまで他の領域を専門としていた医師でもプライマリ・ケアの担い手になることができるように支援することを目的とした「総合医育成プログラム」が2019年度から運営されている。その一期生にあたる川端康一先生を中心として、地域医療の現場で活躍するプライマリ・ケア医の様々なキャリアを知ることが目的に本シンポジウムを企画した。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
**学術大会**  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受けいれ活かすケア～

● **会期** ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)  
● **会場** オンライン開催  
● **大会長** 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

## シンポジウム 5

開催形式:ライブ配信+終了後オンデマンド配信

### 総合診療医学領域の研究 -研究テーマの分類と体系化- by JUGLER(実行委員会企画)

**企画責任者** 多胡 雅毅(佐賀大学医学部附属病院 総合診療部)  
**座長** 多胡 雅毅(佐賀大学医学部附属病院 総合診療部)  
**シンポジスト** 志水 太郎(獨協医科大学総合診療医学/  
獨協医科大学病院総合診療科)  
佐々木 陽典(東邦大学医学部総合診療・救急医学講座)  
鋪野 紀好(千葉大学医学部附属病院 総合診療科)  
和足 孝之(島根大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター)  
高橋 宏瑞(順天堂大学医学部総合診療科)

#### [開催の目的]

総合診療医学が医学の学術分野で果たすべき役割は大きいですが、本邦での総合診療医の学術活動はまだ十分ではない。米国のホスピタリストに関する報告では、ホスピタリストがその地位を確立するために重要な要素の中に、研究生産性と学術分野としての発展が挙げられている。我が国でも総合診療専門医、新家庭医療専門医、病院総合診療専門医などの新たな制度が開始されているが、その医師像と役割を明確にするためにさらなる学術活動の発展が必要である。総合診療領域では臨床研究を実施することが多いが、その研究テーマには教育や疫学なども含まれており、多岐に渡っている。また研究領域における我が国の総合診療医の役割は明確にされていない。本セッションでは総合診療医の研究テーマを明確にし、分類及び体系化することを目的とする。

#### [企画概要]

事前に我が国の総合診療医が行っている学術活動の現状について検討した研究、文献をレビューし、情報を整理する。また実際に我々が手掛けている研究テーマを列挙する。それらの全ての情報を合わせて、研究テーマを分類する作業を行い体系化したリストを作成する。

セッションでは、まずレビューの結果と作成した研究テーマの分類リストを参加者に提示し共有する。その後、テーマとカテゴリー別にディスカッションを行い、研究テーマの分類リストをブラッシュアップし提言としてまとめる。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
学術大会  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受けいれ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)  
会場 オンライン開催  
大場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

## >シンポジウム 6

開催形式:ライブ配信+終了後オンデマンド配信

### 総合診療専門医を基盤とするキャリアパスの現状と展望(委員会企画)

企画責任者	前野 哲博(筑波大学附属病院総合診療科)
司 会	大西 弘高(東京大学) 石丸 裕康(天理よろづ相談所病院)
シンポジスト	前野 哲博(筑波大学附属病院 総合診療科) 田妻 進(JA 尾道総合病院) 有賀 徹(独立行政法人労働者健康安全機構) 西水 翔子(大分大学医学部 総合診療・総合内科学講座/宮崎医院)

#### [開催の目的]

2018年に導入された総合診療専門医制度は、2021年3月にその第1期生が修了を迎える。最近では、総合診療専門医を基盤とする次のキャリアが大きなテーマになりつつある。

日本プライマリ・ケア連合学会では、2020年度から新・家庭医療専門医制度をスタートさせた。2021年度からは、日本病院総合診療医学会による病院総合診療専門医制度の導入も予定されている。また、日本専門医機構においても、内科専門医等とのダブルボードや、機構認定のサブスペシャリティ領域に関する議論が始まろうとしている。

そこで今回は、総合診療専門医を基盤として導入された様々なキャリアパスについて、それぞれの研修制度の最新情報および今後の展望について共有するとともに、今後のあるべき姿について論じる。

#### [企画概要]

最初に、イントロダクションとして専門医制度をめぐる現状と最新情報および現在問題になっている点について紹介する。次に、新家庭医療専門医制度、病院総合診療専門医制度について、現状と課題を紹介する。さらに、全体を俯瞰する立場から、総合診療専門医の専門性及びキャリアパスに関する提言と、研修を受ける専攻医の立場からの意見について発言していただき、最後にフロアディスカッションを行う。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
学術大会  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受けいれ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)  
会場 オンライン開催  
大場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>



## >シンポジウム7

開催形式:ライブ配信+終了後オンデマンド配信

### 総合診療において重視すべき学問と研究テーマ(実行委員会企画)

**企画責任者** 大野 每子(唐津市民病院きたはた)

座長・演者 青木 拓也(東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター  
臨床疫学研究部)

演 者 宮地 純一郎(名古屋大学医学系研究科 医学部医学科  
総合医学教育学)

孫 大輔(鳥取大学医学部 地域医療学講座)

井口 真紀子(上智大学大学院 実践宗教学研究科死生学専攻)

#### [開催の目的]

国民の健康に資するための研究として、総合診療で取り扱う分野は無限に近いと思われる。その中で、今、どの分野を重視すべきか、近未来はどのような研究テーマが望まれるのか、どんな学問分野の充実が必要なのかなど国民やプライマリ・ケアの現場目線をふくめ討論をお願いしたい。

#### [企画概要]

総合診療領域の研究の特徴として、パラダイム、学問、方法論の多様性が挙げられる。本シンポジウムでは、総合診療領域の研究において重要とされる学問および各々と関係が深い研究テーマについて、シンポジストに解説して頂く。

1)青木拓也氏:疫学

2)宮地純一郎氏:人類学

3)孫大輔氏:医学教育学

4)井口真紀子氏:死生学

パネルディスカッションでは、今後総合診療領域全体として取り組むべき研究テーマ、学際的研究のあり方、研究者の育成などについて議論し、本領域の研究活動のあるべき姿を探る。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
学術大会  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
~多様性を受け入れ活かすケア~

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)~23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)~7月21日(水)  
会場 オンライン開催  
大会長 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

## >シンポジウム 8

開催形式:ライブ配信+終了後オンデマンド配信

### 研究ってホントに大事なの? 若手からのメッセージ(委員会企画)

**企画責任者** 松島 雅人(東京慈恵会医科大学・総合医科学研究センター  
臨床疫学研究部)

**講師** 金子 惇(横浜市立大学医学群データサイエンス研究科  
ヘルスデータサイエンス専攻)

松永 拓(静岡家庭医養成プログラム・森町家庭医療クリニック)

富田 詩織(聖路加国際病院 一般内科)

櫻井 広子(済生会岩泉病院/医局につぼん/  
みちのく総合診療医学センター)

#### [開催の目的]

研究研究というけど本当にやらないといけないの?なんで大事なの?実際取り組んでいる人はどんなところが大変でどんなところがやりがいなの?実際に研究を始めた若手の先生たちと研究支援委員会メンバーで一から話し合ってみたいと思います。

#### [企画概要]

- ・新家庭医療専門医を取るには研究が必要?
- ・患者さんに向き合いたくて家庭医を目指しているのに何で研究?
- ・始めてみたけどつらすぎる??

「研究」と言われると鳥肌が立つ人、指導医に言われてやっているが何のためか悩んでいる人など色々いると思います!

建前ではみんな「研究が大事」って言うけど本当なの?なんでなの?

若手で研究に興味があるメンバーと一緒に考えていきましょう!

- ・そもそもなぜプライマリ・ケアに研究は必要なのか?

を若手アカデミック GP からプレゼンした上で

- ・リサーチクエスチョンは現場から?流行りのトピックを追った方がいい?
- ・研究するには大学に属しないとだめ?それとも最前線で臨床をやってこそ?
- ・研究するのに留学が必要?

の各お題に若手3人が10分ずつ経験を交えて自分の意見をプレゼン、それを元に研究支援委員会メンバーとフロアでディスカッションします。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
学術大会  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
~多様性を受け入れ活かすケア~

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)~23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)~7月21日(水)  
会場 オンライン開催  
大場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

## >シンポジウム 9

開催形式:ライブ配信+終了後オンデマンド配信

### コロナ禍でも可能な！オンライン留学 ～各国若手家庭医と語り合うプライマリ・ケアとコロナ診療のベストバランス～ (International Session) (委員会企画)

企画責任者	廣岡 伸隆(埼玉医科大学総合診療内科)
総合司会	佐々江 龍一郎(NTT 東日本関東病院 総合診療科)
	小林 直子(富山市まちなか診療所)
司会	朝倉 健太郎(健生会 大福診療所)
	吉田 伸(穎田病院 総合診療科)
講師	加藤 大祐(三重大学大学院医学系研究科 家庭医療学分野)
	小串 真澄(森町家庭医療クリニック)
	安藤 崇之(慶應義塾大学医学部 総合診療教育センター)
	角田 秀樹(京都大学大学院医学研究科 健康情報学分野)
	坂井 雄貴(ほっちのロッヂの診療所)
	向原 千夏(滋賀家庭医療学センター)

#### [開催の目的]

日本プライマリ・ケア連合学会国際委員会では、2013年より日英短期訪問プロジェクト、2014年より日韓短期訪問プロジェクトを立ち上げ、2019年より日星短期訪問プロジェクトを企画してきた。これまでにプロジェクトに参加した若手家庭医は30名に及ぶ。しかし2020年春より流行した新型コロナウイルス感染による渡航制限のため、やむを得ずこれらのプロジェクトの運用を見合わせている。その間、WONCA(世界家庭医機構)YDM(Young Doctors' Movement)のアジア太平洋地域 Rajakumar Movement ではオンラインによる国際交流セミナーを開始した。また2021年2月に開催された家庭医療冬期セミナーでは、英国・韓国・タイの若手家庭医とオンラインにて情報交換を行い、コロナ診療について互いに深い知見を得ることができた。本企画では、これらの経緯を踏まえ、新型コロナウイルスに関する診療の違いを通して得た諸外国の知見をさらに深く議論し、互いに理解を深め、交流することを目指している。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
学術大会  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受け入れ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)  
会場 オンライン開催  
大会長 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

## [企画概要]

本シンポジウムは、日本そして英国・韓国・シンガポールなど諸外国の若手家庭医が、自国の新型コロナウイルス診療について語り、互いに議論を交わすことで、オンラインによる国際交流を体験してもらうことを目指している。深める機会とする。自国のプライマリ・ケアを担う家庭医として、コロナ診療にどのように・どこまで関わっているか、住民に対する本来のプライマリ・ケアをどのように維持しようと努めているか、限られたリソースでそのベストバランスをどう模索しているかについて、各国よりレクチャーやプレゼンテーションを行ってもらい、そのあとディスカッションタイムを設けてインタラクティブな議論を交わす。新型コロナウイルスが世界的に流行している昨今、渡航による国際交流はまだまだ困難な日々が続くが、この企画を通して新たな国際交流の場としてのオンラインでの交流の可能性を模索できればと考えている。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
**学術大会**

プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受け入れ活かすケア～

- 会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)
- 会場 オンライン開催
- 大会長 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

## > Symposium9

Presentation Format: Live streaming & On-demand  
(After the live streaming is finished)

### The pandemic in Primary care Learning from the experience of COVID-19 from a Global perspective (International Session)

Organizer Nobutaka Hirooka  
(Department of General Internal Medicine, Saitama Medical University)

#### [Summary]

The pandemic has changed the way we live our life for all of us in one way or another. Having caused the restriction to the world for more than one year, we look at what some of the international primary care physicians had learnt and changed the way they practiced.

There is much to be learnt from our international colleagues. Each country has its unique medical and political systems, thus facing a variety of different issues. The discussions will explore what each country has learnt during this pandemic and what we can do more collaboratively as a primary care physician in future.

Japan Primary Care Association (JPCA) established the exchange programs between Japanese primary care physicians and other countries, including the UK and Korea, and we plan to have Singapore participating with us soon. JPCA had welcomed more than 30 young primary care physicians from overseas so far.

We will be organising this wonderful event this year again with the use of remote technology, despite the pandemic still ongoing. We sincerely look forward to seeing you all again at this event.



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
**学術大会**  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受けいれ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)  
会場 オンライン開催  
大場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

## >シンポジウム 10

開催形式:ライブ配信+終了後オンデマンド配信

### 若手研究者のネットワーク(実行委員会企画)

**企画責任者** 大野 每子(唐津市民病院きたはた)  
**座長** 喜瀬 守人(医療福祉生協連家庭医療学開発センター(CFMD)／川崎医療生活協同組合 久地診療所)  
**シンポジスト** 山梨 啓友(長崎大学病院 総合診療科・感染症内科(熱研内科))  
金子 惇(横浜市立大学医学群 データサイエンス研究科  
ヘルスデータサイエンス専攻)  
片岡 裕貴(民医連あすかい病院 内科)

#### [開催の目的]

日本のプライマリ・ケア分野の研究、発信には若手研究者の育成、ネットワークの形成が不可欠である。各地で展開されている活動の実際、到達点、課題、将来像について自由に討論していただき、今後の当学会の学術活動をけん引するような示唆を得たい。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
**学術大会**  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受けいれ活かすケア～

● **会期** ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)  
● **会場** オンライン開催  
● **大会長** 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

## >シンポジウム 11

開催形式:ライブ配信+終了後オンデマンド配信

### 複合災害における多種職協働と、災害時多目的船(病院船)の利活用 (公募企画)

**企画責任者** 中村 浩士(呉医療センター/中国がんセンター 総合診療科)  
**演 者** 長谷川 高志(日本遠隔医療協会)  
山岡 傳一郎(愛媛県立中央病院 漢方内科)  
笠岡 俊志(熊本大学病院 災害医療教育研究センター)

#### [開催の目的]

東京オリンピック 2021 を目前に控えた令和 3 年 2 月 13 日午後 11 時 8 分福島・宮城で震度 6 強の地震が発生し、コロナ禍での複合災害における国民の危機管理意識は再び高まっている。複合災害における多種職協働と、災害時多目的船(病院船)の利活用について緊急討議し、今なら救える命や社会を救うことを目的とした。

#### [企画概要]

大規模災害時の際には被災地に医療者と物流を運搬できると共に海上に浮かぶ病院として機能できる病院船は、特に周囲を海に囲まれた日本における有用性は東日本大震災より繰り返し論議されているにも関わらず未だに実現していない。船舶無線に加えて 5G ローカル基地局による被災地全体の通信環境を基盤とした、被災地や避難所におけるオンライン・遠隔診療や、洋上発電による電力供給も可能である。さらに医薬品や救援物資の物流や備蓄基地の役割も担うことで迅速かつ的確なロジスティックも可能となる。さらに日本と世界における災害史や新興感染症に対する drug repositioning(案)や漢方医薬についても概説し、コロナを含む複合型災害対策の在り方を早急に提案したい。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
学術大会  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受けいれ活かすケア～

● **ライブ配信** 2021年5月21日(金)～23日(日)  
● **オンデマンド配信** 2021年5月21日(金)～7月21日(水)  
● **会場** オンライン開催  
● **大場** 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

## >シンポジウム 12

開催形式:ライブ配信+終了後オンデマンド配信

### 多様なプライマリ・ケアの現場で働く看護師たち :複雑な背景の事例に対応するプライマリ・ケア看護の醍醐味(委員会企画)

企画責任者	森山 美知子(広島大学大学院医系科学研究科成人看護開発学)
座長	渡部 あずさ(社会医療法人 製鉄記念室蘭病院 サテライトクリニック知利別)
演者	中平 絵里(宇都宮協立診療所)
	中山 法子(糖尿病ケアサポートオフィス)
	水上 幸子(公益社団法人地域医療振興協会 地域包括ケアセンターいぶき)
	木村 千尋(雲南市立病院)
	鈴木 由美(保育保健情報交流会 『ほけんの集い』)
	児玉 久仁子(東京慈恵会医科大学 医学部看護学科/ 福島県立医科大学 地域・家庭医療学講座)

#### [開催の目的]

プライマリ・ケアの現場は幅広く、多様な形態をもつ診療所、中小病院、訪問看護の他、保育園や学校、介護施設、地域包括支援センター、企業、独立起業(フリーランス)などに、プライマリ・ケアの機能を担う看護師が配置されています。看護師がいることは知っていても、彼らが何のために配置され、何をしているのか、そして、どのような人々をケアの対象として、地域の中でどのような連携をとっているのかは意外に知られていません。

社会や家族形態の複雑化、過疎地域、離島・へき地、スラム街(人口密集・低所得者地域)、外国人労働者の集まる地域など、個人の背景も地域も多様であり、そこに発生するニーズやプライマリ・ケアの役割も異なります。

それぞれの働き場所・地域で、どのような複雑化する対象をケアしているのか。その実践を伺って、プライマリ・ケアの果たすべき役割を可視化、考えてみたいと思います。

#### [企画概要]

①糖尿病看護の高い専門性を生かし、複数の病院の外来担当、自治体の糖尿病重症化予防事業、糖尿病看護のコンサルテーション等を担う「地域で独立起業して活動する診療看護師」、②在宅支援診療所で訪問診療のマネジメントや外来業務、訪問看護を担い、地域包括ケアシステムの一翼を担う看護



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
学術大会  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
~多様性を受けいれ活かすケア~

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)~23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)~7月21日(水)  
会場 オンライン開催  
大場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>



師、③米国でナースプラクティショナーとして働いた後、日本の過疎地の診療所で「高度実践看護師が地域でどのような機能を担うことで住民の健康アウトカムにつなげられるか」を模索する看護師、④元保育園看護師や小児科診療所でのキャリアを生かし、小児保健ネットワーク代表として乳幼児看護の質向上を図る看護師、⑤家族看護専門看護師として、複雑な問題を抱える家族のケアにあたる看護師の活動について紹介してもらい、プライマリ・ケア領域での看護師の多様な活動について可視化してみたいと思います。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
**学術大会**  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受け入れ活かすケア～

- 会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)
- 会場 オンライン開催
- 大会長 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

## >シンポジウム 13

開催形式:ライブ配信+終了後オンデマンド配信

### 外来で活躍する看護師の声が聞きたい!～看護だからこそできること～ (実行委員会企画)

企画責任者	森山 美知子(広島大学大学院医系科学研究科成人看護開発学)
座長	森山 美知子(広島大学大学院医系科学研究科成人看護開発学)
演者	山口 寿子(医療法人社団 六翠会 城内六島クリニック)
	三倉 祐美子(森町家庭医療クリニック)
	小串 路恵(生協浮間診療所)
	下野 紀代美(医療法人 淀さんせん会 金井病院)
	黒田 かおり(医療法人社団 北垣会 たけしファミリークリニック)

#### [開催の目的]

外来で看護する看護師の姿はこれまであまり注目されてこなかった。一方で、診療所で働く看護職の数は、看護師 12.8%、准看護師 38.2%と報告されており(平成 30 年衛生行政報告例(就業医療関係者)の概況)、看護職者の主要な勤務場所となっている。加えて、診療所や病院の外来はプライマリ・ケア、地域医療の要として地域住民の健康を守る重要な拠点である。外来看護師には多様な役割や業務があり、高い専門性も要求される。本シンポジウムでは、日本プライマリ・ケア連合学会が認定したプライマリ・ケア看護師に、さまざまな病状や背景を抱えて来院する患者・家族への外来看護の面白さや醍醐味、専門性、苦労などを語ってもらい、外来看護を可視化したい。

#### [企画概要]

本シンポジウムでは、日本プライマリ・ケア連合学会がプライマリ・ケア看護師として認定した5人の演者に登壇いただき、それぞれのクリニックの特徴、地域での位置づけや、さまざまな病状や背景を抱えて来院する患者・家族への外来看護の面白さや醍醐味、専門性、苦労などを語ってもらい、最後に会場との質疑応答で外来看護の面白さを深めたい。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
学術大会  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受けいれ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)  
会場 オンライン開催  
大場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

## >シンポジウム 14

開催形式:ライブ配信+終了後オンデマンド配信

### これからの遠隔診療の活用(実行委員会企画)

**企画責任者** 藤原 元嗣(佐賀大学医学部附属病院 総合診療部)

**司会/シンポジスト**

大橋 博樹(医療法人社団家族の森 多摩ファミリークリニック)

**シンポジスト** 織田 良正(社会医療法人 祐愛会織田病院)

黒木 春郎(医療法人社団 嗣業の会 外房こどもクリニック)

### [開催の目的]

近年遠隔診療が発展してきた背景には、高齢社会や僻地での医師不足といった社会的な問題や、インターネットや通信デバイスなどの発展など技術的な側面が考えられる。今後もAIや5Gなどの進歩による影響が期待される。さらに2020年、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴い、初診患者でもオンライン診療を行うことが正式に認められ、遠隔診療は確実に新しい局面を迎えたと言える。with コロナの時代に、プライマリ・ケアと遠隔診療に期待される展望を様々な立場からディスカッションする。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
**学術大会**  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受け入れ活かすケア～

● **会期** ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)  
● **会場** オンライン開催  
● **大会長** 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

## >シンポジウム 15

開催形式:ライブ配信+終了後オンデマンド配信

プライマリ・ケア医が多様な診療の場で活躍するために求められるものとは  
(実行委員会企画)

**企画責任者** 孫 大輔(鳥取大学医学部 地域医療学講座)  
**座長** 孫 大輔(鳥取大学医学部 地域医療学講座)  
**シンポジスト** 孫 大輔(鳥取大学医学部 地域医療学講座)  
遠井 敬大(my CLINIC)  
太田 龍一(雲南市立病院 内科/地域ケア科)  
奥 知久(奥内科循環器科/合同会社トモラボ)  
井口 真紀子(上智大学大学院 実践宗教学研究科 死生学専攻)  
弓野 綾(川崎医療生活協同組合 あさお診療所/  
東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学教室)

### [開催の目的]

プライマリ・ケアを担う総合診療医は、急性期病院から診療所・クリニック、都市部から離島・僻地まであらゆる診療の場で実践が求められる。また、病院・医療機関内だけではなく、コミュニティの中での地域志向性アプローチや、海外の国際保健分野で活躍する医師もいる。社会のあり方や市民の価値観が多様化していく中で、プライマリ・ケア医の診療のあり方や、求められるニーズも多様化している。しかし、我々も一人の人間であり、すべての多様な実践の場を研修し、すべてのコンピテンシーを修めるのは難しいであろう。本シンポジウムを通じて、総合診療医が活躍する多様なフィールドにおいて、具体的になされている実践や、そこで求められるコンピテンシーについて知ってもらうこと、それを通して、今後多様な場での働き方を模索している医師たちの一助となることを願うものである。

### [企画概要]

本シンポジウムでは、多様な診療の場で活躍している総合診療医にシンポジストとして講演していただき、パネルディスカッションを通じて議論を深めたい。シンポジストの遠井敬大氏からは、都市部大病院での救急と大学病院総合診療科での経験を中心に都市部でのプライマリ・ケア医の役割の考察を、太田龍一氏からは、沖縄の離島・僻地医療と島根の中山間地域での診療経験を、奥知久氏からは、フリーランス医師として総合診療医の働き方や地域志向性アプローチについて、井口真紀子氏からは、死生学・緩和ケアを専門的に学



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
**学術大会**  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受け入れ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)  
会場 オンライン開催  
大場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

びながら在宅医療に従事する立場から、弓野綾氏からは、タンザニア等での保健・医療に従事した経験から国際保健における総合診療医の実践について、孫大輔氏からは、都市部／地方、大学／診療所、診療／教育／コミュニティ活動など多面的な活動について、それぞれ話を伺う。最後に、シンポジスト間でディスカッションを行う。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
**学術大会**  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受けいれ活かすケア～

- 会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)
- 会場 オンライン開催
- 大会長 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

## >シンポジウム 16

開催形式:ライブ配信+終了後オンデマンド配信

### COVID-19 パンデミックにおいて JPCA の果たしてきた役割と今後の活動(委員会企画)

**企画責任者** 喜瀬 守人(医療福祉生協連家庭医療学開発センター(CFMD)  
川崎医療生協久地診療所)

司 会 大橋 博樹(医療法人社団家族の森 多摩ファミリークリニック)

パネリスト 中山 久仁子(医療法人メファ仁愛会 マイファミリークリニック蒲郡)

木村 琢磨(埼玉医科大学総合診療内科/HAPPINESS 館クリニック)

吉田 伸(颯田病院 総合診療科/飯塚・颯田家庭医療プログラム)

春田 淳志(慶應義塾大学医学教育統轄センター)

#### [開催の目的]

COVID-19 パンデミック以降、日本プライマリ・ケア連合学会はプライマリ・ケアの現場で役立つ情報の発信に努めてきた。一連の取り組みは学会としても手探りではあったが、幸いにも多方面から反響をいただき、一定の成果を得たと自負している。今後はワクチン接種、Long COVID の診療、GoTo キャンペーンなど経済活動の推進、海外渡航の規制緩和、地域による感染拡大状況の違いなど、COVID-19 を巡る環境は今後も変化し続け、私たちは柔軟かつ的確にこれに対応しなければならない。本企画では、これまでの COVID-19 対応プロジェクトチームの取り組みの知見を紹介し、今後のプライマリ・ケアのあり方、必要な改革について参加者とともに考えたい。

#### [企画概要]

日本プライマリ・ケア連合学会は、学術団体としてパンデミック下でのプライマリ・ケア診療支援、学術調査を行ってきた。具体的には特設サイト(pc-covid19.jp)、3つの「診療の手引き」、診療モデル集積、一般向け YouTube 動画「家庭医お悩み相談所」、医療従事者を対象とした質的研究である。これらの取り組みから見えてきたプライマリ・ケアの課題として、①不確実な状況下での現実的かつ最善となる感染対策、②地域住民の不安に対応するコミュニケーション、③地域住民の生活を守る活動、④行政・医師会・関連学会などとの一層のコミットメントなどが挙げられる。このシンポジウムでは、これらの知見を踏まえて、プライマリ・ケアの診療現場に必要な COVID-19 対応について提言したい。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
学術大会  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受け入れ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)  
会場 オンライン開催  
大場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>